

2011 年 10 月 17 日

報道関係各位

中部学院大学  
中部学院大学短期大学部

## 大垣市社会福祉協議会と連携調印式

中部学院大学（岡本 健 学長）ならびに中部学院大学短期大学部（片桐 多恵子 学長）は、大垣市社会福祉協議会（山岡泰利会長）と、連携協定を結ぶことになりました。

同社会福祉協議会とは、各地域における社会福祉の発展のために、互いに支援・協力することで合意しました。具体的な活動として、大学は、同社協が行っている地域福祉のすぐれた実践を研究し、他の地域へ普及したり、同社協は、大垣市内の福祉施設・福祉事業所等に就職を希望する学生に対し、求人情報を提供し相談にのっていただいたり、市民福祉の向上に連携して努めていけるように取り組んでいきます（詳細は別紙参照）

### 記

■ 日 時 2011（平成 23）年 10 月 28 日 11 時 30 分から 12 時

■ 場 所 中部学院大学 関キャンパス 大会議室  
（関市桐ヶ丘二丁目 1 番地 TEL：0575-24-2211）

■ 日 程 11：15 受付開始  
11：30 開会（経過と趣旨説明）  
11：40 連携協定の調印式  
11：50 ごあいさつ  
12：00 写真撮影 閉会

■ 出席者 中部学院大学 岡本 健 学長  
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長  
大垣市社会福祉協議会 山岡 泰利 会長 ほか

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学総合研究センター（担当：村上） TEL:0575-24-2238

## 大垣市社会福祉協議会との連携協定について

### ■ 経 過

大垣市は岐阜県の中で、人口が16万人を超え、岐阜市に次いで規模の大きな市です。また、西濃地域の中心都市として産業、経済、行政の中心になってきました。

大垣市社会福祉協議会はこれまでさまざまな実績を有し、岐阜県のみならず全国にその名が知られている先進的な社会福祉協議会である。中でも、小学校区に設置されている地区社会福祉協議会の活動は高く評価され、2009年6月に本学で開催された第23回日本地域福祉学会において「岐阜シンポジウム」として、その地域福祉活動が紹介されています。

また、このたびの東日本大震災の被災地支援にあたって8回の市民ボランティア派遣を行い、最終回には本学東日本大震災支援センターとタイアップし、本学の学生が現地で活動するために便宜を図っていただきました。

さらに、かつて大垣市地域福祉活動計画策定に本学の教員が携わったことや、本学の卒業生が就職するなど、さまざまなところで友好関係が継続されてきました。

このたび、東日本大震災にかかる本学学生の派遣が直接のきっかけになり、引き続き協力関係を維持していくことで双方が合意をして今回の締結となりました。

### ■ 今後期待すること

- (1) 大垣市社会福祉協議会が推進する地域福祉活動に協力し、市民の福祉向上に大学が貢献すること
- (2) すでに本学が協定を結んでいる岐阜市、各務原市、高山市、関市などの社会福祉協議会とともに、地域福祉や社会福祉協議会についての実践的研究を行うこと
- (3) 本学の学生に福祉実習など勉学の機会を与えていただくこと
- (4) 大垣市内の福祉施設・福祉事業所等に就職を希望する学生に対して、求人情報を提供し相談にのっていただくこと

### ■ 調印式の予定

日 時：2011年10月28日（金）11時30分～

会 場：中部学院大学 関キャンパス 大会議室

[大垣市社会福祉協議会 来校者名]

山岡泰利 会長、牧野義貞 常務理事、早崎正人 事務局長、岸本有紀 係長